

ガマ仙人

とも) 和尚さん、和尚さん

和尚) はいはい、あ、ともくんかい、どうしたんだい

とも) 聞きたいことがあってきたんですけど、すごい友達ができるにはどうしたらいいんですか？

和尚) すごい友達？

とも) 今日学校でね、健くんの友達がサッカーで地区の代表になって、新聞に載ったっていうんだよ。すごいでしょ？そしたらりょうくんがね、友達がテレビに出たって言うんだよ。すごいでしょ？だから僕もね、すごい友達が欲しいんだ。僕にすごい友達を紹介してくれませんか？

和尚) うーん、では私の友達の柳亭信楽という落語家を紹介してあげるから友達になるといい

とも) へえ、落語家の信楽さん？その人はテレビに出てるの

和尚) テレビには出てないかなあ

とも) 新聞には出てるの

和尚) 新聞にも出てないなあ

とも) じゃ意味ないよ！！テレビにも新聞にも出てない落語家なんてなんの意味もないんだよ！そんな人と友達になりたくないよ！

和尚) 君は残酷なことを言うね。そんなことを言うとぼちが当たるよ。

とも) ごめんなさい、でもさ、そういうんじゃない、もっともっとすごい人と友達になりたいんだよ。誰かいない？

和尚) じゃ仙人はどうだい？仙人と友達だったら自慢できるでしょ

とも) 仙人？

和尚) うん、こっちにきなさい。ほら、この絵に描かれているのが鉄拐仙人とガマ仙人だよ

とも) 鉄拐仙人とガマ仙人？

和尚) うん、二人とも昔の中国にいた仙人なんだけどね。この鉄拐仙人という人は、不思議な術を使う。鉄拐仙人が息をスーッと吐くと自分の口から小さい自分の分身を吐き出すんだ。その昔鉄拐仙人はその術を使って中国で大変な人気だったんだ。すごい人でしょ？

とも) すごいね、鉄拐仙人。じゃガマ仙人は？どういう仙人なの？

和尚) これがよくわからないんだよ。

とも) わからないの？

和尚) わからない。術を使うのかもわからない。わかっているのは、ガマ仙人はどうやら肩にガマガエルをのっけてるということ。

とも) みりゃわかるよ！それだけ！？

和尚) いずれにしてもここに描かれてる人だからきっとすごい人なんだろう。どうだい、仙人と友だちだよ？自慢できるんじゃないかな

とも) それはそうだけど、そんな絵の中の仙人と友達になんてなれないでしょう？

和尚) そんなことはないよ。ほら、その隣の絵を見てごらん。これはね、その昔、ある男が首を切られそうになったその間際、観音様に必死で救いを求めると、首を刎ねるための刀が折れたと言われている。だからともくんもね、観音様に心を込めてお願いをすれば、無理な願いでもきつと叶うんだ。だから絵に描かれたこの仙人と友達になることができるんだ。

とも) そうなの？？

和尚) うん、さ、お祈りしましょう。仙人様とお友達になれますように！

とも) はい、仙人様とお友達になれますように！

和尚) うんうん、はい、はい、ちょっとお客様が来たみたいだからここでお祈りを続けてなさい (和尚、部屋から出る)

とも) はい、仙人様とお友達になれますように！

(バタン！！ガマ仙人登場)

ガマ仙人) ヤァともくんだね

とも) え、え

ガマ仙人) 君の友達だよ

とも) え

ガマ仙人) 君の友達のガマ仙人だよ

とも) 気持ち悪いよおおおおお、気持ち悪い！！何、何？？

ガマ仙人) ガマ仙人だよ。ほら、肩にガマガエルが乗っているだろ、ガマ仙人だよ。絵から出てきたんだ

とも) 和尚さーん！！こわいよー！！実際絵から出てくると単純に気持ち悪いよー！！古い中国の絵のタッチが余計に気持ち悪いよー！！

ガマ仙人) 私と友達になりたいんだろ？

とも) 近づかないで！！和尚さん！！和尚さん！助けてー変なの出てきた！！

和尚) 全く、なんだ大騒ぎをして、うわー！！！気持ち悪い人いるー！！！！（鍵を閉める）

とも) 和尚さん！！鍵閉めないでよ！！！！ガマ仙人と二人にしないでよー！！！！気持ちが悪いよー！！！！

ガマ仙人) おい、ガマ！お前、気持ち悪いって言われてるよ

ガマガエル) ゲロゲロ

ガマ仙人) ハハ、そんなことないって言っているよ～

とも) ガマガエルと喋ってるよー！気持ち悪いよー！どっちも気持ち悪い、カエルも仙人も気持ち悪い！！

ガマ仙人) おいおい、私をガマと一緒にしないでくれよ。こんなに変な顔してないよ。私の方がいい男だろ？

ガマガエル) ゲロゲロ

ガマ仙人) おい、何言ってるんだよw

ガマガエル) ゲロゲロ

ガマ仙人) うるさいよw！別の話だろそれw

ガマガエル) ゲロゲロ

ガマ仙人) イッヒッヒッヒっひ、全く、、面白いねえ

とも) わからないよ！ガマと仙人のノリがわからないよー！！

ガマ仙人) おいおい、君は私と友達になりたいんだろ？私だって君と友達になりたいと思ったから出てきたんだよ

とも) 僕と友達になりたいの？どうして？

ガマ仙人) 実はずっと私も友達がいなくてね、友達が欲しかったんだ。友達が欲しくてガマ仙人になったんだ

とも) え、どういうこと？

ガマ仙人) 私も子供の頃からずっと友達がいなくてね、どうしたら友達ができるだろう、考えて、そうさ、何か目立つことをしたら人が集まってきて友達ができるんじゃないか、そう思ったんだ。じゃどうしたら目立てるだろう？って考えて、それで、肩にガマガエルを乗っけてみたんだ。

とも) そんな理由で？そんな理由でガマガエルを乗っけたの？

ガマ仙人) うん、そんな理由でだよ。そりゃ、最初は気持ち悪かったよ。ガマガエルを肩に乗けるなんて気持ち悪いだらう？でもそれぐらいのことをやらないと中国ではやっていけないん

だ。何しろ中国では友達を作るためにみんなすごいことをするんだ。刀を飲んでみたり、車を歯で引っ張ったり、大の大人が関節を外してほっそい輪っかを通り抜けてみたり

とも) いやそれ友達を作るためにやってるんじゃないよ。そういう中国の芸なんだよ!

ガマ仙人) 私はそれに対抗してガマを肩に乗っけて街をウロついてみたんだ。しかしなかなか友達ができなかった。まあ時間がかかるのだらうと思って、そのまま何年も何十年も肩にガマガエルに乗っけて街を闊歩していたんだ。するとどうだろう?友達が増えるどころか人が私を避けるようになったんだ

とも) そりゃそうだよ!!そんな人間、誰だって避けるよ!!!

ガマ仙人) 気づいた時には私のいないところで、ガマ仙人、ガマ仙人なんて言われていてね

とも) 陰口じゃん!陰口言われてるじゃん!

ガマ仙人) 陰口だよ、陰口ありきで私はガマ仙人になったんだ

とも) 陰口ありきでなったの!?!??

ガマ仙人) ある日の朝なんて、家の玄関のドアに大きく「ガマ仙人」なんて落書きされてたんだよ。

とも) 悲しすぎる!!エピソード悲しすぎる!!え、術は、術使えないの?

ガマ仙人) 術?そうだな、こいつは背中を強く撫でるとヌルヌルの臭い液が出せるんだよ。

とも) それガマのやつじゃん!仙人は?仙人は何か術できないの?

ガマ仙人) 術はできないよ。ただ肩に長い間ガマガエルを乗せてるだけの男さ。

とも) なんだこいつ!!!ただの街にいる気持ち悪い人じゃん!!

ガマ仙人) そういうわけでもう二千年も友達ができないから、こうやって君と友達になれて私は嬉しいよ!初めての友達だ

とも) え、僕が初めての友達??でも一緒に絵に描かれてる鉄拐仙人がいるじゃん?鉄拐仙人は友達じゃないの?

ガマ仙人) ん、全然、全くの他人だよ。喋ってもないよ

とも) 喋ってもないの?どうして?どうして一緒に描かれてるの?

ガマ仙人) ああ、あれはね、元はと言えば写り込んでしまったんだよ。

とも) 写り込んでしまった?

ガマ仙人) いやよくあるだろ?街歩いてたらたまたま写真撮ってるところの間に通りかかって映り込んだじゃうやつ。「すみません、気づきませんで入っちゃいまして」っていう。あれさ

とも) あれ??

ガマ仙人) うん、出来上がった写真見てみると、「おいおい、全く関係ない人が写真に入っちゃって誰だよこいつー！！w」ってなるやつ。あれだよ。絵描きの先生が鉄拐仙人を描いてる時にたまたまガマ仙人が通りかかっちゃって、写り込んだんだ

とも) それ絵であること??絵で間違っって写り込んだじゃうとかあるの??

ガマ仙人) なにしろ中国だからね。

とも) 関係ないよ！理由になってないよ！！

ガマ仙人) そのまま何千年も絵の中で一緒にいるんだけど、一言も喋ったことないよ

とも) え、それってよくわかんないけど、気まずくないの？

ガマ仙人) 気まずいよ。絵の中めっちゃくちゃ気まずいよ！！

とも) なんだよそれ！絵の中気まずいって初めて聞いたよ！！ガマ仙人、鉄拐仙人と友達になりなよ

ガマ仙人) 無理だよ。向こうは中国で超有名な仙人だよ？私なんてただ肩にガマ乗っけてるだけだもん。無理だよ。だからこうして君と友達になることができ嬉しいんだ！！さあ一緒に何かして遊ぼう。爆竹に火をつけて金持ちの家に投げ込んで遊ぼう！

とも) なんだよその遊び！！そんなことやりたくないよ！！ねえガマ仙人、やっぱり鉄拐仙人と友達になった方がいいよ。だってさ、やっぱり仙人は昔の中国の人だし、絵の中の人だろ。仙人の唯一の友だちが日本の子供っておかしいよ

ガマ仙人) でも仙人は友達の作り方がわからないんだ。なあともくん教えておくれ。どうやったら友達を作ることができるんだ？

とも) 僕もよくわからないけど、たとえばさ、僕だったら大事にしてる漫画を貸してあげたりして友達になるかな？あ、仙人、仙人の大事にしてるそのガマを貸してあげたら？

ガマ仙人) え、このガマを??おい、待ってくれよ。こいつはもう2千年も私の肩に乗っているんだよ。それを人に貸すなんて嫌だよ！！なあお前もそれは嫌だろ？

ガマガエル) ゲロゲロ

ガマ仙人) な、何いってんだよw

ガマガエル) ゲロゲロ

ガマ仙人) それはこっちのセリフだよw

ガマガエル) ゲロゲロ

ガマ仙人) そ、それを言われたら何も言えないw、お前、いつもそれじゃねえかw、、、面白いねえ

とも) それわかんないからやめてよ！！見てらんないよ！！ねえ、人に貸してあげられるのってガマくらいしかないだろ？鉄拐仙人に貸してあげたら？

ガマ仙人) うーん、だけど人に貸したことないからなあ、じゃともくん、練習させてくれるかい？

とも) 練習？

ガマ仙人) うん、いきなり鉄拐仙人にガマを貸すなんて緊張するだろ？一回練習がしたいんだ。私だって2千年も一緒にいるガマを人に貸すなんて辛いんだよ

とも) うん、わかったよ (目をつぶる)

ガマ仙人) 、、、じゃ肩に乗っけるよ。、、、うん、大丈夫だよ、貸すだけ、貸すだけだから、、どうだい？肩に乗っけたよ？

とも) うん、、、、(ガマを見て) 気持ち悪い！！近くで見るとやっぱり気持ち悪い！！

ガマ仙人) 返せー！！あんまりだよ、そりゃあんまりだ！！俺二千年も乗っけてたのに、そりゃあんまりだあ！！

とも) ごめんごめん。でもどう、これでガマを貸す練習にはなつたろ？さ、絵の中に戻って鉄拐仙人とも友達になつてきなよ

ガマ仙人) うん、わかった。ともくん、短い間だったけど楽しかったよ。じゃあ (絵の中の世界へ)

ガマ仙人) 鉄拐仙人！！

鉄拐仙人) あ、ガマ仙人、なんでしょう

ガマ仙人) 鉄拐仙人、私と、私と友達になってくれませんか？

鉄拐仙人) はい、もちろん！そういつてくださりありがとうございます。

ガマ仙人) ああ、よかった。あの、友情の印として、私の大事にしてるこのガマを貸してあげます。肩に乗っけてあげますね

鉄拐仙人) あ、いいんですか？そんな大事なものを？？

ガマ仙人) ええ、、、さあ乗っけましたよ

鉄拐仙人) ありが、、、(そろりそろり見る) 気持ちわりー！！！！ (完)